

# 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための確認事項

(2022年度 第2号)

日南学園中学高等学校

2022年5月11日配布

5月の連休を終えて、宮崎県でも新型コロナウイルス感染症の拡大が相変わらず続いています。

本校としては引き続き、感染対策に十分配慮をしたうえで、可能な限り生徒の学習活動、学校生活を充実させたものにしていきたいと考えています。そのためには私たち学校職員はもちろん、生徒、保護者の皆様にもご協力をいただく必要があります。まずは日々の行動において、「うつらない」、「うつさない」ための対策を徹底して行い、仮に新型コロナウイルスの陽性者が本校から出た場合にも、陽性者やその家族が必要以上のストレスを抱えることのないように適切に対応していくための準備をしておくことが学校の責務であると考えます。

以下の通り学校の基本方針をまとめましたので、ご一読いただきご協力をよろしくお願いいたします。

**前回の第1号から変更になっている部分は赤字で記してあります。**

なお、この方針については6月上旬に再検討をする予定ですので、改めて連絡をさせていただきます。

## (1)日常生活での基本的感染対策

日常生活での基本的感染対策



密集回避 密接回避 密閉回避 換気 咳エチケット 手洗い

- ・まめに手洗い、手指消毒
- ・咳エチケットの徹底(外出はマスク着用)
- ・人との間隔はできるだけ2m(最低1m)
- ・「3密」を避ける
- ・会話をするときには、可能な限り対面を避ける
- ・感染が流行している地域の往来は避けて
- ・口腔ケアで感染予防
- ・毎朝、体温測定
- ・発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



身体的距離 2m

(宮崎県 新型コロナウイルス感染症対策特設サイトより引用)

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための確認事項

(2022年度 第2号)

日南学園中学高等学校

## (2)学校における感染対策

- ①健康管理チェック表を活用した健康管理の実施。  
⇒毎日担任に提出をしてチェック、月末に学校が回収をして保健室で保管。  
\*寮生に関しては、個人の体温計を準備して使用すること。
- ②不織布マスク着用の徹底  
⇒食事、歯磨き、部活動の練習中を除き学校生活においては不織布マスクを着用する。
- ③手洗い、手指消毒の徹底
- ④教室内の定期的な換気  
⇒季節、天候にもよるが、基本的には窓を閉め切った状態を作らないことを原則とする。
- ⑤マスクを外した状態での会話を極力、慎む。  
⇒食事中、部活動の休憩中は特に注意する。
- ⑥マスクをした状態での会話も大声は極力、慎む。

## (3)県外からの来客について

来客については県内外を問わず、通常通り対応をする。  
ただし、アクリル板越しにマスク着用での対応を基本として時間は15分程度とする。

## (4)県外に行った生徒、職員の対応について(県外から戻った日を0日目としてカウント)

宿泊を伴わず、感染対策をしっかりとおこなっていれば、特にPCR検査や自宅待機は求めない。  
宿泊を伴った場合には原則として、以下の対応をお願いする。

【パターン1】帰ってきた日に空港でPCR検査を受ける場合

0日目(PCR検査) ⇒ 1日目(PCR結果、陰性) ⇒ 2日目(自宅待機) ⇒ 3日目(制限解除)

【パターン2】帰ってきて自宅待機期間を経て、PCR検査を受ける場合

0日目、1日目(自宅待機) ⇒ 2日目(PCR検査) ⇒ 3日目(PCR結果、陰性) \*解除

上記の待機期間は生徒は公欠。職員は労働時間管理簿の労働時間は0でカウントするが、年休処理をする必要はありません。ただし私用で県外に行って登校日、勤務日にかかる場合には欠席、年休扱いとします。(部活動に関わる場合には公欠扱い)

## (5)寮生の帰省について

帰省について特に制限は設けませんが、可能な範囲で自粛を求める。

ただし、県外へ帰省をした場合には、(4)のいずれかの方法でPCR検査を受けて陰性を確認してから寮に戻ることにする。また県内の帰省についても、極力人ごみへの外出を避けて健康観察を続けること。

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための確認事項

(2022年度 第2号)

日南学園中学高等学校

## (6)部活動について(5月9日～)

- 昨年度に比べて感染者数は増加傾向にあるが、高校総体が開催予定のため基本的には県外への遠征を含めて、他校との練習試合等は認める。ただし感染防止対策として、以下の点を徹底する。
- ① 練習中、試合中、食事中以外は、不織布マスクの着用を徹底して指導する。
- ② 特に食事に関しては、他校との接触を避けるとともに部員同士であっても不織布マスクを外した状態での会話を控える。
- ③ 宿泊を伴う遠征の場合には、ホテル等での食事を可能な限り、他の利用客とずらすなど工夫する。
- ④ 移動中の車内、宿泊する部屋などにおいても、会話をする場面での不織布マスクの着用と換気を徹底する。
- ⑤ **県外への遠征は許可するが、宿泊を伴う場合には(4)の考え方にに基づきPCR検査、自宅待機をお願いします。宿泊を伴わない県外遠征や、県内での県外チームとの試合については、PCR検査や自宅待機は求めない。ただし、大前提として感染対策を十分行うことを部顧問等がしっかりと指導をすることを条件とする。**
- ⑥ 寮生の自宅待機期間は、P-café に依頼し食事を弁当として、他の寮生との接触を極力避けるように工夫する。(入浴時間、洗濯時間など)
- ⑦ 待機期間中の生徒の健康観察結果(起床時と練習前)は部活動顧問と寮監が連携して把握し、速やかに養護教諭に報告をする。発熱等がある場合には管理職も連絡を受けて対応する。また、この期間のスケジュールを部顧問で作成し、管理職に報告をする。

## (7)その他

発熱等の症状がある場合には、かかりつけの医療機関に電話で相談し、医師の指示を受けて受診。それらの経過を必ず学校(担任)へ連絡をしてください。

その他、詳細な状況については県のHP(右のQRコード)をご覧ください。

